



平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社日清製粉グループ本社
代表者名 取締役社長 村上 一平
(コード番号：2002 東証・大証第1部)
問合せ先 上席執行役員 総務本部広報部長
稲垣 泉
(TEL 03-5282-6650)

当社子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるオリエンタル酵母工業株式会社が、別添資料のとおり、平成 22 年 3 月期の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績および通期の連結業績予想につきましては、平成 21 年 10 月 30 日の第 2 四半期決算発表時に公表する予定です。

(添付)

オリエンタル酵母工業株式会社の開示資料

以 上

平成 21 年 10 月 29 日

各 位

上場会社名 オリエンタル酵母工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中村 隆司
(コード番号 2891)
問合せ先責任者 管理本部経営企画部長 佐藤 彰
(TEL 03-3968-1125)

平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年5月12日に公表しました平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の予想値と比較して、本日公表の第2四半期実績値において下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのであわせてお知らせいたします。

記

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想値と実績値との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	750	800	350	10.70
実績値(B)	31,834	1,269	1,358	692	21.19
増減額(B-A)	△165	519	558	342	
増減率(%)	△0.5	69.3	69.8	98.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	31,854	623	754	375	11.45

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,100	1,750	1,850	1,150	35.16
今回発表予想(B)	63,000	2,200	2,350	1,450	44.34
増減額(B-A)	△100	450	500	300	
増減率(%)	△0.2	25.7	27.0	26.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	64,008	1,538	1,759	831	25.41

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想値と実績値との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	350	650	400	12.23
実績値(B)	28,863	941	1,236	772	23.63
増減額(B-A)	863	591	586	372	
増減率(%)	3.1	168.9	90.2	93.2	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

平成 22 年 3 月期通期個別業績予想値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,600	900	1,250	950	29.05
今回発表予想(B)	57,400	1,450	1,800	1,250	38.22
増減額(B-A)	1,800	550	550	300	
増減率(%)	3.2	61.1	44.0	31.6	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	57,100	644	1,021	561	17.15

修正の理由

昨年の世界的な金融不安による景気後退の中、原油等諸資源や穀物等の価格高騰が沈静化しております。また一方では、一部に景気回復の兆しが見えるものの、個人消費は落ち込みが続くと見られ依然不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当第 2 四半期累計期間はバイオ部門において飼料用原料相場が想定よりも落ち着いた水準で推移し、診断薬原料や受託飼料の売上が前年を上回ったこと、食品部門において主力のイースト及びパン品質改良剤等の出荷が好調であったことから平成 21 年 5 月 12 日発表の業績予想値と差異が生じました。

また、原油価格が下落しエネルギーコストが減少したことも収益向上に寄与いたしました。

通期につきましては、年度後半の原油等諸資源の価格動向及び両部門の市場環境は不透明な状況ですが、第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、連結・個別ともに平成 21 年 5 月 12 日発表の通期業績予想を修正いたします。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上